

児童が育てた苗、田に根付く



5月27日、上ノ国小学校5年生による田植え体験授業が行われ、児童21名が参加しました。この授業は、児童たちに食べ物を作ることを大変さや、作物が育つ仕組みを教えようとする食育教育の一環で行われているものです。場所は北村地区目名の水田で、農業を営む菊池和雄さん(字北村)のご家族が児童たちに指導を交えながら、児童が自分たちで育てたという苗を田植えしていました。例年田植え時期は肌寒いですが、今年は気温も高く、暖かい風吹く中で田植えとなり、児童たちは半袖姿で元気に水田に入り、手持ちの苗がなくならないと『苗をくださーい!』と哇道の先生や保護者に呼びかけ、積極的に田植えを体験していました。

上ノ国町商工会女性部 主張発表大会で全道優勝



5月8日、北海道商工会連合会女性部による主張発表大会が札幌市で開催され、大会に出場した本町商工会女性部が檜山でも初となる最優秀賞を獲得しました。「女性の活躍がまちづくりの鍵になる」と題し、平山副部長が自身の体験をもとに発表し、幼少時に憧れを抱いた「商工会の売店などで力強くモノを売っておばちゃん元気」そして大人として関わるようになってから商工会で触れた「若手を育てようとする母のような優しさ」など、上ノ国で経験した女性と女性の触れ合いが語られました。北海道で最優秀賞となったことから、7月2日の北海道・東北六県代表による主張発表大会でも平山さんが発表を行います。そこでも上ノ国町の女性の主張が会場の胸を打ち、上位入賞することが期待されます。

上ノ国保育所園庭など 慈善事業により改良



5月23日、上ノ国保育所の園庭や通路などが、事業者による慈善事業によって整備されました。これは、大留交差点においてラウンドアバウト交差点改良工事を行っている(株)道南土木が、地域貢献の一環として無償で実施したもので、長雨や風によって土が飛ばされ、でこぼこしていた園庭にトラック数台分の新しい土を入れ、ローラーで整備したとのこと。上ノ国保育所では、第2の心臓と呼ばれる足を鍛え、健やかに育ててほしいとの思いから、裸足での保育を実践しており、整備後、きれいになった園庭や通路では、安心してかけっこをする園児の姿が見られるようになります。保育士や保護者からも感謝の声が聞かれました。

まちの歴史スポットを「巡り



6月20日、上ノ国町内会によるふれあいサロン活動の一環として、町内に点在する歴史スポットをガイド付きで巡るツアーが実施されました。ツアーは、桂岡地区の地名の由来ともなった「桂の木」にはじまり、逆さ水松や首切りの松、町内最古の墓碑など山方面の名所のほか、大安在の十兵衛岩、石崎トンネル漁港、小砂子山道の海方面まで、町内の逸話のあるスポットを1日で巡りました。ツアーに参加した30名の方々は、「70年上ノ国で生きてきて、はじめてこんな逸話があることを知った」と当たり前のように住んでいるまちで新しい発見があったのは新鮮だった」と口々に話して、ツアーは非常に好評だった様子です。